

〔泌尿紀要12巻2号〕
昭和41年2月京都府立医科大学泌尿器科分科前5年間
(1959~1963)の外来患者の統計的観察

京都府立医科大学泌尿器科学教室(主任:小田完五教授)

小 田 完 五 久 保 泰 徳 平 竹 康 祐
井 上 進 東 登 伎 雄 小 野 利 彦
村 田 庄 平 大 山 朝 弘 三 品 輝 男
村 上 剛 岡 村 喜 明 山 田 要 助
保 井 明 泰STATISTICAL OBSERVATION ON OUT-PATIENTS IN THE
DEPARTMENT OF UROLOGY, KYOTO PREFECTURAL
UNIVERSITY OF MEDICINE FROM 1959 TO 1963Kango ODA, Yasunori KUBO, Yasusuke HIRATAKE, Susumu INOUE, Tokio
HIGASHI, Toshihiko ONO, Shohei MURATA, Choko OYAMA, Teruo
MISHINA, Takeshi MURAKAMI, Yoshiaki OKAMURA, Yosuke YAMADA
and Akihiro YASUI*From the Department of Urology, Kyoto Prefectural University of Medicine
(Director: Prof. Kango Oda)*

Statistics on out-patients visited to our urological clinic from 1959 to 1963 were reported.

The total number of out-patients was 5,523. The percent distribution of diagnosis was recorded as the following order of frequencies: cystitis (16.8%), upper urinary urolithiasis (10.3%), nothing particular (8.5%), gynecological tumor (6.3%), prostatic tumor (6.2%), bladder neurosis (5.5%), renal tuberculosis (4.3%), urethritis (4.2%), phimosis (3.8%), urethral stricture (3.0%), sexual neurosis (2.6%) and bladder tumor (2.6%).

I 緒 言

戦後特に最近数年間に大多数の大学医学部に泌尿器科教室の開設をみ、わが京都府立医科大学にあっては昭和39年(1964)5月皮膚科から分離独立し、飛躍の年を迎えることになった。ここにわれわれは将来の発展への礎えとなる、いわば教室の胎生期ともいうべき分科前5年間(1959~1963)の、泌尿器科外来患者について統計的観察を試みた。

女比は2.18:1.00である。年度別にみるとわずかつつであるが漸次増加の傾向にあり、男女比では前3年が後2年にくらべやや大である。

表1 外来患者総数、男女別並に年度別観察

年	1959	1960	1961	1962	1963	計	年間平均
男	611	708	787	825	862	3,789	768.0
女	265	321	340	393	414	1,734	346.8
計	876	1,029	1,127	1,218	1,276	5,523	1,104.8
男/女	2.29	2.20	2.31	2.09	2.08	2.18	

II 外来患者総数、男女別ならびに年度別観察(表1)

1959~1963年における泌尿器科外来患者総数は5,523名で、そのうち男子3,789名、女子1,734名、男

III 年令構成(表2)

5年間の10才階級別年令構成は表2の如くである。

表2 年 令 構 成

年	1959	1960	1961	1962	1963	計	男女別外来数 に対する%	外来総数に 対する%
0～9 男女	23 16	32 12	35 13	34 14	45 8	169 63 233	4.46 3.63	3.06 1.14 4.20
10～19 男女	49 22	65 15	61 13	63 19	62 20	300 89 389	7.92 5.13	5.43 1.61 7.04
20～29 男女	202 69	207 71	233 79	212 71	247 79	1,101 369 1,470	29.06 21.28	19.93 6.68 26.62
30～39 男女	99 45	117 63	135 73	153 83	150 85	654 349 1,003	17.26 20.13	11.84 6.32 18.16
40～49 男女	61 38	85 59	80 67	84 75	80 74	390 313 703	10.29 17.47	7.06 5.67 12.73
50～59 男女	72 45	87 57	92 53	98 76	83 81	432 312 744	11.40 17.99	7.82 5.67 13.47
60～69 男女	65 18	66 29	93 28	116 36	120 54	460 165 625	12.14 9.52	8.33 2.99 11.32
70～79 男女	35 12	42 12	50 12	53 17	59 11	239 64 303	6.31 3.69	4.33 1.16 5.49
80～ 男女	5 0	7 3	8 2	12 2	16 2	48 9 57	1.27 0.52	0.87 0.16 1.03
不 明 男女	0 0	1 0	1 0	0 0	0 0	2 0 2	/	/
計 男女	611 265	708 321	787 340	825 393	862 414	3,789 1,734 5,523	/	68.60 31.40 100

急勾配をもって20才代が外来患者総数の26.6%，絶対多数を占め，次いで30才代18.2%，50才代13.5%，40才代12.7%，60才代11.3%の順に多く，20才代～60才代5階級で総数の82%を占め50才代に第2峯がある。これを男女別にみると多少異っており，男子では20才代に特に高く第2峯は60才代にあるが，女子では低い峯が20才代にあり以後50才代まではほぼ平均しており梯状をしている。

IV 部位臓器別に分類した個々の疾患についての観察

(イ) 上部尿路疾患

本群中には表3の如き疾患が含まれており，その数は1,159例。外来総数の21.1%，部位臓器別第2位に位している。このうち疾患別第2位の上部尿路結石（外来総数の10.3%）と同第7位の腎結核（外来総数の4.3%）と併せて本群の70%を占めている。

上部尿路結石に膀胱および尿道結石を加えた尿路結石を一括表示すると，4表の如くである。その数は615例，上部尿路結石は尿路結石の83.7%を占めている。上部尿路結石中の疑診74例を除き，部位別に多い順にあげると尿管結石（5.5%），腎結石（2.5%），膀胱結

石（1.6%），尿道結石（0.3%）である。尿路結石の部位重複は，腎と尿管15，尿管と膀胱5，腎と膀胱4，膀胱と尿道2，腎，尿管と膀胱1である。男女比でみると腎結石2.5：1，尿管結石4.3：1，膀胱結石11：1，尿道結石13：1，で下方に進むにしたがい男子に頻度が高くなる。

尿路および性器結核を一括表示すると，表5の如くである。その数は尿路結核237例と性器結核94例を合せて331例，外来総数の60%にあたる。尿路結核では偏腎結核（106）と腎切除単腎症（100）とがあい半ばして大多数を占め，男女ほぼ同数である。性器結核では副睾丸結核が過半数，前立腺結核がこれに次ぎ多い。尿路および性器結核同時併発は，腎と前立腺10，腎と副睾丸7。腎，副睾丸と前立腺5の22例である。

(ロ) 膀胱疾患

本群中には表6の如き疾患を含み，その数は1,556例，外来総数の28.2%，部位臓器別第1位に位する。このうち膀胱炎（16.8%）は疾患別の第1位に位し，本群の約60%を占め，女子に多く男/女比は0.74：1.00。次いで疾患別第6位の膀胱神経症（5.5%）は本群の約20%を占め，男女ほぼ同数である。膀胱腫瘍は本群の第3位（2.6%）にある。

表3 上部尿路疾患

年		1959	1960	1961	1962	1963	計		男女別外来数 に対する%	外来総数に 対する%	
上部尿路結石	男	74	85	76	103	115	453	571	11.96	8.20	10.34
	女	17	21	26	28	26	118		6.81	2.14	
腎 結 核	男	13	35	29	22	27	126	237	3.33	2.28	4.29
	女	19	33	19	22	18	111		6.40	2.01	
上部尿路腫瘍	男	4	0	4	6	3	17	24	0.45	0.31	0.44
	女	0	1	1	3	2	7		0.40	0.13	
腎 出 血	男	3	11	15	14	14	57	101	1.50	1.03	1.83
	女	8	9	8	7	12	44		2.54	0.80	
水 腎 症	男	2	1	7	4	3	17	47	0.45	0.31	0.89
	女	4	3	4	10	9	30		1.73	0.54	
腎 盂 炎	男	1	2	6	4	5	18	43	0.48	0.33	0.79
	女	4	5	4	6	5	25		1.44	0.45	
腎炎, ネフ ローゼ	男	2	7	12	12	2	35	49	0.92	0.63	0.89
	女	2	6	3	2	1	14		0.81	0.25	
遊 走 腎	男	7	10	6	12	13	48	84	0.92	0.87	1.52
	女	3	5	6	6	16	36		2.08	0.65	
膿 腎	男	0	0	0	0	0	0	5	0.00	0.00	0.09
	女	0	1	0	2	1	5		0.29	0.09	
海 綿 腎	男	0	0	0	2	0	2	2	0.05	0.04	0.04
	女	0	0	0	0	0	0		0.00	0.00	
馬 蹄 鉄 腎	男	0	0	1	0	0	1	1	0.03	0.02	0.02
	女	0	0	0	0	0	0		0.00	0.00	
計	男	106	151	156	179	182	774	1,159	／	14.01	21.08
	女	57	84	68	86	90	385			6.97	
外来総数に 対する%		18.61	22.84	20.32	21.76	21.32	21.08		／	／	

表4 尿路結石症

年		1959	1960	1961	1962	1963	計		計	男女別外来数 に対する%	外来総数に 対する%	
上 部 尿 路	腎	右 男女	7 3	7 4	9 4	5 1	10 1	38 13	51	男 99	2.61	1.79
		左 男女	5 4	9 2	9 1	17 8	10 6	50 21	71	女 39	2.25	0.71
		両 男女	2 2	3 1	2 1	2 1	2 0	11 5	16	計 138		2.50
	尿管	右 男女	17 1	12 5	22 6	18 4	24 5	93 21	114	男 246	6.49	4.45
		左 男女	22 2	30 8	22 6	43 9	33 11	150 36	186	女 57	3.29	1.03
		両 男女	1 0	0 0	1 0	0 0	1 0	3 0	3	計 303		5.49
	疑 い 男女		6 2	16 3	8 6	12 5	13 3	55 19	74	／	／	／
	計 男女計		60 14 74	77 23 100	73 23 96	97 28 125	93 26 119	400 115 515	／	10.56 6.63	7.24 2.08 9.32	

外来総数に対する%		8.45	9.72	8.52	10.26	9.33	9.32	/	/	/
下部尿路	膀胱 男女	5 3	12 1	24 1	17 2	21 0	79 7 86	/	2.09 0.40	1.43 0.13 1.56
	尿道 男女	5 0	2 0	1 0	3 0	2 1	13 1 14	/	0.34 0.05	0.24 0.02 0.26
計 男女計		10 3 13	14 1 15	25 1 26	20 2 22	23 1 24	92 8 100	/	2.43 0.46	1.67 0.14 1.81
外来総数に対する%		1.48	1.46	2.31	1.81	1.88	1.81	/	/	/
総 計 男女計		70 17 87	91 24 115	98 24 122	117 30 147	116 27 143	492 123 615	/	12.98 7.09	8.91 2.23 11.13
外来総数に対する%		9.93	11.18	10.91	12.07	11.21	11.13	/	/	/

表5 尿路および性器結核

年			1959	1960	1961	1962	1963	計		男女別外来数 に対する%	外来総数に 対する%	
尿 路 結 核	右 腎 男女	4 5	6 4	3 5	4 4	3 9	20 27	47	0.53 1.56	0.36 0.49	0.85	
	左 腎 男女	2 6	7 5	8 5	5 4	14 3	36 23	59	0.95 1.33	0.65 0.42	1.07	
	両 腎 男女	1 1	1 2	0 0	1 1	1 0	4 4	8	0.01 0.23	0.07 0.07	0.14	
	患側不明男女	1 1	1 1	1 0	0 1	1 1	4 4	8	0.01 0.23	0.07 0.07	0.14	
	残 腎 男女	0 0	1 2	0 0	0 1	1 1	2 4	6	0.01 0.23	0.04 0.07	0.11	
	疑 い 男女	0 0	2 3	1 0	3 0	0 0	6 3	9	0.02 0.17	0.11 0.05	0.16	
	腎別後 単腎症 男女	5 6	17 16	16 9	9 11	7 4	54 46	100	1.43 2.65	0.98 0.83	1.81	
計 男女計		13 19 32	35 33 68	29 19 48	22 22 44	27 18 45	126 111 237	3.33 6.40	2.28 2.01 4.29			
外来総数に対する%			3.65	6.61	4.26	3.61	3.53	4.29	／	／		
性 器 結 核	副 睪 丸	右	5	4	3	3	4	19	0.50	0.34		
		左	7	4	4	7	7	29	0.77	0.54		
		両	1	0	1	3	4	9	0.24	0.16		
		計	13	8	8	13	15	57	1.51	1.03		
	前 立 腺	6	3	4	3	10	26	0.69	0.47			
	精 囊 腺	0	0	0	1	0	1	0.03	0.02			
	精 管	1	1	3	0	0	5	0.13	0.09			
	不 明	1	0	0	0	0	1	0.03	0.02			
	陰茎結核疹	0	3	0	0	1	4	0.11	0.07			

計	21	15	15	17	26	94	2.41	1.70
外来総数に対する%	2.40	1.46	1.33	1.40	2.04	1.70	/	/
総計	34 19 53	50 33 83	44 19 63	39 22 61	53 18 71	220 111 331	5.81 6.40	3.98 2.01 5.99
外来総数に対する%	6.05	8.06	5.59	5.01	5.57	5.99	/	/

表6 膀胱疾患

年		1959	1960	1961	1962	1963	計		男女別外来数 に対する%	外来総数に 対する%		
膀胱結石	男女	5 3	12 1	24 1	17 2	21 0	79 7	86	2.09 0.40	1.43 0.13	1.56	
膀胱腫瘍	男女	18 7	19 11	22 12	22 11	11 11	92 52	144	2.43 3.00	1.67 0.94	2.61	
膀胱炎	男女	68 70	64 100	76 119	82 119	105 125	395 533	928	10.42 30.74	7.15 9.65	16.80	
膀胱神経症	男女	24 18	23 20	29 38	38 46	38 32	152 152	304	4.01 8.88	2.75 2.75	5.54	
神経因性膀胱	男女	3 4	8 3	7 5	14 10	13 6	45 28	73	1.19 1.61	0.81 0.51	1.32	
膀胱異物	男女	3 1	0 0	1 0	1 0	0 1	5 2	7	0.13 0.12	0.09 0.04	0.13	
萎縮膀胱	男女	1 2	0 0	0 1	2 2	0 1	3 6	9	0.19 0.38	0.05 0.11	0.16	
膀胱白板症	男女	0 1	0 0	0 2	0 0	0 0	0 3	3	0.00 0.11	0.00 0.05	0.05	
計	男女	122 106	228 135	337 261	176 190	367 364	188 176	364 785	771 1,556	／	13.93 14.21	28.17
外来総数に対する%		26.03	25.36	29.90	30.13	20.61	28.17		／	／		

(ハ) 尿道疾患

本群中には表7の如き疾患を含み、その数は517例、外来総数の9%、部位臓器別第4位に位する。このうち疾患別第9位の単純性尿道炎(4.2%)、同第10位の尿道狭窄(3.0%)はそれぞれ本群の1,2位を占め、併せて本群の77%を占める。何れも男子に極めて高率である。淋疾(0.8%)は全例男子で極めて低率である。

(ニ) 前立腺疾患

本群中には表8の如き疾患を含み、その数は495例、外来総数の9%、部位臓器別第5位に位する。このうち疾患別第5位の前立腺肥大症(6.2%)、前立腺癌(1.0%)は併せて本群の80%を占める。

ここで尿路性器腫瘍を一括して表示すると表9となる。その数は616例、外来総数の11%にあたる。前立腺肥大症(6.2%)について疾患別第12位の膀胱癌

(2.6%)、前立腺癌(1.0%)である。腎癌、尿道癌がこれに次ぐ。腎癌、膀胱癌は男子に、尿道癌は女子に多い。なお子宮癌のため膀胱鏡の検査依頼を受けたものの346例あり、総外来数の6%、女子の20%、疾患別第4位に位する。

(ホ) 睪丸、副睪丸、精索、精囊腺、陰囊並びに内分泌疾患

本群中には表10の如き疾患を含み、その数は317例、外来総数の6%、部位臓器別第7位に位する。このうち不妊症(1.3%)副睪丸結核(1.0%)、陰囊水腫(0.8%)が主なもので、併せて本群の55%にあたる。

(ヘ) 陰茎疾患

本群は表11の如き疾患を含み、その数は321例、外来総数の5.8%部位臓器別第6位に位する。このうち疾患別第9位の包茎(3.8%)、亀頭包皮炎症(1.3%)、併せて本群の89%にあたる。

表7 尿 道 疾 患

年		1959	1960	1961	1962	1963	計		男女別外来数 に対する%	外来総数に 対する%	
尿 道 結 石	男	5	2	1	3	2	13	14	0.34	0.24	0.25
	女	0	0	0	0	1	1		0.06	0.02	
尿 道 腫 瘍	男	0	0	0	2	1	3	27	0.08	0.05	0.49
	女	5	4	6	3	6	24		1.38	0.43	
尿 道 炎	男	45	39	39	54	37	214	234	5.65	3.87	4.24
	女	1	5	5	1	8	20		1.15	0.36	
淋 疾 男		13	6	12	6	9	46		1.21	0.83	
尿 道 狭 窄	炎症性 男	25	24	26	28	22	125	137	3.30	2.26	2.48
	炎症性 女	3	1	4	0	4	12		0.69	0.22	
	結核性 男	1	1	1	0	3	6		0.16	0.11	
外傷性 男		2	5	10	5	0	22		0.58	0.40	
尿 道 下 裂 男		1	1	1	2	2	7		0.18	0.13	
尿 道 破 裂 男		1	2	2	0	0	5		0.13	0.09	
尿道カルン ケル 女		5	1	3	3	7	19		0.34	0.10	
計 男		93	80	92	100	76	441	517	／		7.98
女		14	11	18	7	26	76		／		1.38
外来総数に 対する%		12.21	8.84	9.76	8.78	7.99	9.36		／		9.36

表8 前 立 腺 疾 患

年		1959	1960	1961	1962	1963	計		男子外来数 に対する%	外来総数に 対する%	
前立腺結核		6	3	4	3	10	26		0.69	0.47	
前立腺癌		4	6	17	19	11	57		1.50	1.03	
前立腺肥大		41	65	59	77	98	340		8.98	6.16	
前立腺症		5	8	5	5	11	34		0.90	0.62	
前立腺炎		2	1	3	6	8	20		0.53	0.36	
前立腺結石		2	3	3	5	2	15		0.40	0.27	
前立腺膿瘍		0	1	1	1	0	3		0.08	0.05	
計		60	87	92	116	140	495		13.06	8.96	
外来総数に 対する%		6.85	8.45	8.16	9.52	10.97	8.96		／		／

表9 尿 路 性 器 腫 瘍

年		1959	1960	1961	1962	1963	計		男女別外数 に対する%	外来総数に 対する%	
腎 腫 瘍	男	3	0	4	6	3	16	22	0.42	0.29	0.40
	女	0	0	1	3	2	6		0.35	0.11	
尿 管 腫 瘍	男	1	0	0	0	0	1	2	0.03	0.02	0.04
	女	0	1	0	0	0	1		0.06	0.02	
膀 胱 腫 瘍	男	18	19	22	22	11	92	144	2.43	1.67	2.61
	女	7	11	12	11	11	52		3.00	0.94	
尿 道 腫 瘍	男	0	0	0	2	1	3	27	0.08	0.05	0.49
	女	5	4	6	3	6	24		1.38	0.43	

前立腺癌	4	6	17	19	11	57	1.50	1.03
前立腺肥大	41	65	59	77	98	340	8.98	6.16
陰茎腫瘍	1	3	4	2	1	11	0.29	0.20
睾丸腫瘍	3	3	1	3	1	11	0.29	0.20
その他 男女	0 0	1 0	0 0	0 0	0 1	1 2	0.03 0.09	0.02 0.04
計 男女	71 12 83	97 16 113	107 19 126	131 17 148	126 20 146	532 84 616	／	9.63 1.52 11.12
外来総数に対する％	9.47	10.98	11.18	12.15	11.44	11.12	／	／
婦人科腫瘍	39	79	67	76	85	346	20.00	6.26

表10 睾丸，副睾丸，精索，精のう腺，陰のう，並びに内分泌疾患

年	1959	1960	1961	1962	1963	計	男子外来数 に対する％	外来総数に 対する％
睾丸腫瘍	3	3	1	3	1	11	0.29	0.20
停留睾丸	5	6	5	6	8	30	0.79	0.54
萎縮睾丸	2	2	2	7	13	26	0.69	0.47
睾丸廻転症	1	0	0	1	0	2	0.05	0.04
副睾丸結核	13	8	8	13	15	57	1.50	1.03
精子侵襲症	0	0	2	0	0	2	0.05	0.04
精管結核	2	1	3	0	0	6	0.16	0.11
精索水瘤	2	1	1	1	0	5	0.13	0.09
精索静脈瘤	2	3	4	1	5	15	0.40	0.27
精液瘤	2	0	2	5	2	11	0.29	0.20
精のう腺結核	0	0	0	1	0	1	0.03	0.02
陰のう水瘤	7	4	9	11	17	48	1.27	0.89
陰のう内血腫	0	1	1	0	2	4	0.11	0.07
血精液症	2	4	5	5	4	20	0.53	0.36
不妊症	6	12	5	25	21	69	1.82	1.25
内分泌疾患	1	0	4	2	3	10	0.26	0.18
計	48	45	52	81	91	317	8.36	5.74
外来総数に対する％	5.28	4.38	4.62	6.65	7.13	5.74	／	／

表11 陰茎疾患

年	1959	1960	1961	1962	1963	計	男子外来数 に対する％	外来総数に 対する％
陰茎結核疹	0	3	0	0	1	4	0.0	0.07
陰茎腫瘍	1	3	4	2	1	11	0.29	0.20
包茎	37	43	42	46	43	211	5.57	3.82
成形性陰茎硬結	1	2	3	2	4	12	0.32	0.22
亀頭包皮炎症	10	11	21	19	13	74	1.95	1.34
尖圭コンデローム	1	0	2	0	2	5	0.13	0.09
陰茎外傷	0	0	3	1	0	4	0.11	0.07
計	50	62	75	70	64	321	8.47	5.81
外来総数に対する％	5.71	6.03	6.65	5.75	5.02	5.81	／	／

(ト) その他の疾患

本群は表12の如き疾患を含み、その数は1,081例、部位臓器別第3位に位する。全く異常を認めぬもの467例、本群の43%、疾患別第3位に位している。

V 治療内容

治療内容を観血的、泌尿器科のおよび内科的に大別したものは表13である。652例（11.8%）が観血的、493例（8.9%）が泌尿器科的、1,798例（34%）が内科的治療によっている。男女別にみると観血のおよび泌尿器科的処置をうけたものは男子に多くそれぞれ男子患者の14.2%および11.0%、女子患者では少くそれぞれ女子患者の6.6%および4.3%である。また内科的治療をうけたものは男女ほぼ同率で男子患者の33.7%、女子患者の35.8%となっている。

VI 考 按

泌尿器科学が尿路疾患の他男子性器疾患を対象とする臨床医学である以上、男子患者数が優位にあることは推測に難くない。ちなみに外来患者数の大勢を支配する高頻度疾患をあげると表14の如くである。即ち①膀胱炎、②上部尿路結石、③異常なし、④婦人科腫瘍、⑤前立腺肥大症、⑥膀胱神経症、⑦腎結核、⑧尿道炎、⑨包茎、⑩尿道狭窄、⑪性的神経症、⑫膀胱腫瘍などである。前立腺肥大症、包茎、陰萎等が男子に、婦人性器腫瘍のため膀胱鏡検査を依頼されたものが女子に限られていることは当然として、結石、尿道炎、膀胱腫瘍、尿道狭窄等が男子に、膀胱炎が女子に多いことはそれら臓器の構造上の差異によるものと推測される。異常なしが女子より男子に多く、しかも20才代の男子に

多いことは注目に価するところで、この年代に包茎又は性的神経症と診断された患者の多いこととも関連して、この年代の特長として性病又は性に関する不安へのあらわれと考えられる。

以上男女比のよって生ずる因子について概略的に論じたが、男女別年齢階級別の患者数からみた順位が全体の場合と多少異って来ることも亦当然のことで、表14の如くなる。

疾患に特有な好発年齢は患者の年齢構成に影響して、男女を併せた全体では20才代と50才代に、男子のみでは20才代と60才代に、女子のみでは20才代と50才代にそれぞれ峯を示している。男女を併せた全体の20才代は同じ年代の男子の異常なし、結石、包茎、尿道炎と、同じ年代の女子の膀胱炎、結石、膀胱神経症とによって支配され、男女を併せた全体の50才代では同じ年代の男子の膀胱炎、結石、前立腺肥大症、尿道狭窄、尿道炎、と同じ年代の女子の婦人科腫瘍、膀胱炎、膀胱神経症と合せたものが大勢を決している。60才男子では前立腺肥大症、膀胱炎、膀胱腫瘍、尿道狭窄等が主役を演じている。

治療内容の面からみた男女の比較については別の機会に論ずることにする。

結 語

1959～1963年の5年間における外来患者の疾患別、男女別、年度別、年齢構成などについて統計的観察と多少の考按を試みた。

（1965年10月26日受付）

表12 そ の 他 の 疾 患

年	1959	1960	1961	1962	1963	計	男女別総数 に対する%	外来総数に 対する%
夜尿症 男女	9 7	11 6	12 1	4 7	10 6	46 73	1.21 1.56	0.83 1.32
尿失禁 男女	1 2	1 3	1 1	1 1	1 4	5 16	0.13 0.63	0.09 0.29
乳糜尿 男女	0 0	1 0	1 0	1 0	1 0	4 4	0.11 0.00	0.07 0.07
梅毒 男女	5 0	2 0	4 0	6 0	4 1	21 22	0.55 0.06	0.38 0.40
軟性下疳 男女	1 0	0 0	0 0	2 0	3 0	6 6	0.16 0.00	0.11 0.11

性的神経症	男女	23 0	32 2	36 2	28 2	28 1	137 7	144	3.64 0.40	2.50 0.13	2.63
そ の 他	男女	13 3	41 21	39 12	15 4	19 8	126 39	165	3.33 2.25	2.28 0.71	2.99
異常なし	男女	75 20	79 19	64 17	78 17	77 21	373 94	467	9.84 5.42	6.75 1.70	8.45
不 明	男女	32 22	10 4	23 8	29 9	16 11	110 54	164	2.90 3.11	1.99 0.98	2.97
計	男女計	159 54 213	177 55 232	180 41 221	164 40 204	159 52 211	839 242 1,081		22.14 13.96	15.19 4.38	19.57
外来総数に対する%		24.32	22.55	19.61	16.75	16.54	19.57		/	/	

表13 治療内容

年	1959	1960	1961	1962	1963	計	男女別外来数 に対する%	外来総数に 対する%
観 血 的 男 女	91 20	94 15	146 20	97 23	110 36	538 114 652	14.20 6.57	11.81
外来総数に 対する%	12.67	10.59	14.73	9.83	11.44	11.81	／	／
泌尿器科的 男 女	73 11	73 13	124 26	67 11	81 14	418 75 493	11.03 4.33	8.93
外来総数に 対する%	9.59	8.36	13.31	6.40	8.43	8.93	／	／
内 科 的 男 女	195 84	195 90	382 179	137 81	369 186	1,278 620 1,798	33.73 35.76	34.37
外来総数に 対する%	31.85	27.70	49.78	17.90	43.50	34.37	／	／

表14 高頻度疾患の年齢階級別男女別百分率

	全 階 級			2 0 才 代			5 0 才 代			6 0 才 代		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
膀 胱 炎	② 10.42	① 30.74	① 16.80	⑦ 4.63	① 42.82	② 14.22	① 13.43	② 20.83	① 16.53	② 15.65	② 35.15	② 20.80
上 部 尿 路 結 石	① 11.96	④ 6.81	② 10.34	② 14.35	② 13.81	② 14.22	② 12.27	④ 4.49	③ 9.01	/	/	/
異 常 な し	③ 9.84	⑥ 5.44	③ 8.46	① 20.62	③ 8.94	① 17.69	/	/	/	/	/	/
婦 人 科 腫 瘍	/	② 20.00	④ 6.26	/	/	/	/	① 31.09	② 13.04	/	① 35.76	③ 9.44
前 立 腺 腫 瘍	④ 8.98	/	⑤ 6.16	/	/	/	③ 10.88	/	④ 6.32	① 32.17	/	① 23.68
膀 胱 神 經 症	⑧ 4.01	③ 8.88	⑥ 5.54	⑥ 6.18	④ 7.86	⑥ 6.60	⑥ 2.54	③ 9.94	⑤ 5.65	/	/	/
腎 結 核	⑩ 3.33	⑤ 6.40	⑦ 4.29	/	/	/	/	/	/	/	/	/
尿 道 炎	⑤ 5.65	⑧ 1.15	⑧ 4.24	④ 10.81	⑤ 1.08	⑤ 8.37	⑤ 6.94	⑤ 0.96	⑦ 4.44	/	/	/

包 茎	⑥ 5.57	／	⑨ 3.82	③ 11.53	／	④ 8.64	／	／	／	／	／	／
尿 道 狭 窄	⑦ 4.04	⑨ 0.69	⑩ 2.99	／	／	／	④ 8.80	⑤ 0.96	⑥ 5.51	④ 7.83	④ 1.82	⑤ 6.24
性 的 神 經 症	⑨ 3.64	⑩ 0.40	⑪ 2.63	⑤ 6.90	⑥ 0.81	⑦ 5.37	／	／	／	／	／	／
膀 胱 腫 瘍	⑪ 2.43	⑦ 3.00	⑫ 2.61	／	／	／	／	／	／	③ 11.09	③ 4.85	③ 9.44